平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年７月31日

上 場 会 社 名	株式会社北日本銀行	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	8551	URL	http://www.kitagin.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 取締役頭取	（氏名）	佐藤 安紀
問合せ先責任者	（役職名） 取締役経営企画部長	（氏名）	柴田 克洋　　(TEL) 019-653-1111
四半期報告書提出予定日	平成25年８月９日	配当支払開始予定日	―

特定取引勘定設置の有無　：　無
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	6,038	△10.0	869	△46.0	530	△46.2
25年３月期第１四半期	6,711	5.1	1,608	51.6	985	62.3

（注）包括利益 26年３月期第１四半期　△852百万円(　―%)　25年３月期第１四半期　1,045百万円(△31.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	62.03	―
25年３月期第１四半期	115.21	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	1,393,604	56,680	4.1
25年３月期	1,380,923	57,789	4.2

（参考）自己資本 26年３月期第１四半期　56,669百万円　　25年３月期　57,778百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権）を期末資産の部合計で除して算出しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	30.00	―	30.00	60.00
26年３月期	―				
26年３月期(予想)		30.00	―	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	1,350	△20.3	725	△26.0	84.77
通期	3,100	△25.9	1,750	△16.7	204.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料P.2「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
②　①以外の会計方針の変更　　：無
③　会計上の見積りの変更　　：無
④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	8,793,776株	25年３月期	8,793,776株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	240,977株	25年３月期	240,945株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	8,552,801株	25年３月期１Ｑ	8,553,139株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P.2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… P.2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… P.2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… P.2

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… P.2
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… P.2

３．四半期連結財務諸表 …… P.3
（１）四半期連結貸借対照表 …… P.3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P.4
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… P.4
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… P.5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… P.6
（継続企業の前提に関する注記） …… P.6
（追加情報） …… P.6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… P.6

平成26年３月期　第１四半期決算説明資料 …… P.7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期（平成25年４月１日～平成25年６月30日）の経常収益は、貸出金の利回り低下に伴う資金運用収益の減少や貸倒引当金戻入益の減少などにより、前年同四半期比673百万円減少して6,038百万円となりました。

経常利益は、与信費用が増加したことなどから、前年同四半期比739百万円減少の869百万円、四半期純利益は前年同四半期比455百万円減少の530百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

預金残高は、個人預金が順調に増加し、前連結会計年度末比115億円増加して1兆3,110億円となりました。

貸出金残高は、事業性貸出金が減少したことなどから、前連結会計年度末比195億円減少して8,725億円となりました。

有価証券残高については、国債及び社債を中心に安定収益確保に努めるとともに、市場の金利動向に留意しながら慎重な資金運用を図りました結果、前連結会計年度末比56億円増加して3,658億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年３月期の連結業績予想については、平成25年５月14日公表の数値から変更はございません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第１四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
現金預け金	30,631	74,084
コールローン及び買入手形	70,634	50,449
買入金銭債権	1,589	1,656
商品有価証券	82	83
金銭の信託	1,384	1,380
有価証券	360,222	365,852
貸出金	892,095	872,500
外国為替	615	481
リース債権及びリース投資資産	5,215	5,267
その他資産	4,209	4,307
有形固定資産	17,474	17,420
無形固定資産	425	420
繰延税金資産	3,535	4,295
支払承諾見返	7,003	6,579
貸倒引当金	△14,196	△11,174
資産の部合計	1,380,923	1,393,604
負債の部		
預金	1,299,556	1,311,083
借用金	3,414	3,515
外国為替	0	0
社債	3,000	3,000
その他負債	4,629	7,938
賞与引当金	336	88
役員賞与引当金	28	－
退職給付引当金	1,765	1,740
役員退職慰労引当金	426	4
睡眠預金払戻損失引当金	64	63
ポイント引当金	7	8
再評価に係る繰延税金負債	2,900	2,900
支払承諾	7,003	6,579
負債の部合計	1,323,133	1,336,924
純資産の部		
資本金	7,761	7,761
資本剰余金	4,989	4,989
利益剰余金	35,992	36,266
自己株式	△784	△784
株主資本合計	47,958	48,232
その他有価証券評価差額金	4,739	3,356
土地再評価差額金	5,080	5,080
その他の包括利益累計額合計	9,820	8,436
新株予約権	11	11
純資産の部合計	57,789	56,680
負債及び純資産の部合計	1,380,923	1,393,604

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
経常収益	6,711	6,038
資金運用収益	4,833	4,483
（うち貸出金利息）	3,992	3,725
（うち有価証券利息配当金）	819	731
役務取引等収益	617	660
その他業務収益	636	748
その他経常収益	623	146
経常費用	5,102	5,168
資金調達費用	320	274
（うち預金利息）	281	237
役務取引等費用	518	508
その他業務費用	490	597
営業経費	3,642	3,389
その他経常費用	130	397
経常利益	1,608	869
特別利益	0	－
固定資産処分益	0	－
特別損失	1	0
固定資産処分損	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,607	869
法人税、住民税及び事業税	622	338
法人税等合計	622	338
少数株主損益調整前四半期純利益	985	530
四半期純利益	985	530

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	985	530
その他の包括利益	60	△1,383
その他有価証券評価差額金	60	△1,383
四半期包括利益	1,045	△852
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,045	△852

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

当行は、平成25年５月14日開催の取締役会において、平成25年６月21日開催の第109期定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、同株主総会において、退職慰労金の打ち切り支給が決議されました。これにより、当第１四半期連結会計期間において、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給額未払分347百万円を「その他負債」に含めて表示しております。

なお、連結子会社については、従来どおり、役員に対する退職慰労金の支給見積額のうち、当第１四半期連結会計期間末までに発生していると認められる額を「役員退職慰労引当金」として計上しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

平成 26 年 3 月期　第 1 四半期決算説明資料

1.　損益状況【単体】

当四半期の経常収益は、貸出金の利回り低下に伴う資金運用収益の減少や貸倒引当金戻入益の減少などにより、前年同四半期比 791 百万円減少の 5,341 百万円となりました。

コア業務粗利益(債券損益を除く業務粗利益)は、役務取引等利益などが増加したものの、預貸金粗利鞘(預金と貸出金の利回り差)の縮小により資金利益が減少したことなどから、前年同四半期比 206 百万円減少の 4,366 百万円となりました。

コア業務純益は、コア業務粗利益が減少したものの、経費が物件費を中心に前年同四半期比 238 百万円減少したことから前年同四半期比 32 百万円増加の 1,046 百万円となりました。

経常利益は、与信費用が前年同四半期比 826 百万円増加したことなどから、前年同四半期比 756 百万円減少の 802 百万円、四半期純利益は前年同四半期比 465 百万円減少の 490 百万円となりました。

第 2 四半期累計期間業績予想値比進捗率は、経常利益が 61.6%、四半期純利益が 70.0%と順調に推移しております。

(単位:百万円)

	前年同四半期(平成25年3月期第1四半期累計期間)	当四半期(平成26年3月期第1四半期累計期間)	増減		平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想値(6ヶ月間)	(参考)平成25年3月期実績(12ヶ月)
			金額	増減率		
経常収益	6,132	5,341	△791	△12.9		22,708
コア業務粗利益(債券損益を除く業務粗利益)	4,572	4,366	△206	△4.5		17,637
資金利益	4,519	4,217	△302	△6.7		17,424
役務取引等利益	36	87	51	141.7		232
その他業務利益	68	68	0	0.0		△795
(うち債券損益)	52	7	△45	△86.5		△774
経費(除く臨時処理分)	3,557	3,319	△238	△6.7		13,151
コア業務純益	1,014	1,046	32	3.2		4,485
有価証券関係損益	34	27	△7	△20.6		△1,033
一般貸倒引当金繰入額①	―	47	47	―		―
不良債権処理額②	26	322	296	1,138.5		226
貸倒引当金戻入益③	483	―	△483	△100.0		126
償却債権取立益④	96	69	△27	△28.1		481
経常利益	1,558	802	△756	△48.5	1,300	4,031
特別損益	△1	△0	1	100.0		△243
税引前四半期(当期)純利益	1,556	801	△755	△48.5		3,787
四半期(当期)純利益	955	490	△465	△48.7	700	2,012
(与信費用①+②-③)	△457	369	826	180.7		99
(与信費用(償却債権取立益を含む)①+②-③-④)	△553	300	853	154.2		△381

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.　預金、貸出金等の残高【単体】

当四半期末の預金残高は、個人預金、法人預金及び公金・金融機関(主に公金預金)が順調に増加し、預金総額では前年同四半期比689億円増加して1兆3,124億円となりました。また、預かり資産残高については、生命保険の残高、投資信託の残高がいずれも増加したことから、前年同四半期比 161 億円増加の1,087億円となりました。

貸出金残高は、事業性貸出金は前年同四半期比 112 億円減少しましたが、個人ローン残高が前年同四半期比74億円増加し引続き順調に推移したことや地方公共団体向けの貸出金が増加したことなどから、前年同四半期比143億円増加の8,766億円となりました。

①預金残高

(参考)(単位：百万円)

	平成25年6月末 (A)	平成24年6月末 (B)	増減 (A)－(B)	平成25年3月末
預金総額	1,312,467	1,243,499	68,968	1,300,929
個人預金	967,641	961,571	6,070	955,773
法人預金	239,517	233,705	5,812	243,455
公金・金融機関	105,308	48,222	57,086	101,700

②預かり資産残高

(参考)(単位：百万円)

	平成25年6月末 (A)	平成24年6月末 (B)	増減 (A)－(B)	平成25年3月末
生保・投信預かり残高	108,755	92,630	16,125	107,360
生命保険販売累計額	81,383	71,259	10,124	79,423
うち個人年金保険	46,141	43,332	2,809	45,487
投資信託残高	27,371	21,370	6,001	27,937
(参考)				
国債等預かり残高	15,485	17,036	△1,551	15,708

③貸出金残高

(参考)(単位：百万円)

	平成25年6月末 (A)	平成24年6月末 (B)	増減 (A)－(B)	平成25年3月末
貸出金総額	876,609	862,270	14,339	896,215
事業性貸出	361,181	372,442	△11,261	377,714
個人ローン	305,940	298,486	7,454	305,639
住宅ローン	289,838	282,251	7,587	289,635
その他ローン	16,102	16,235	△133	16,004
その他	209,488	191,342	18,146	212,862
(参考)				
中小企業向け貸出	298,678	309,604	△10,926	313,574

3. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」【単体】

当四半期末の金融再生法ベースのカテゴリーによる開示債権額は、前年同四半期比 1,255 百万円減少し 27,134 百万円となりました。また、総与信に占める割合は、前年同四半期比 0.2 ポイント低下して3.0%となりました。

（参考）　（単位：百万円）

	平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,496	8,547	11,856
危険債権	16,167	19,528	15,863
要管理債権	2,471	313	2,055
合計 (A)	27,134	28,389	29,775
総与信額 (B)	884,834	870,569	904,682
総与信に占める割合 (A) / (B)	3.0%	3.2%	3.2%

（注）１．上記の平成25年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
２．算定方法については、当行の定める「資産の自己査定基準」に基づき、平成25年6月末時点で実施した資産査定結果による債務者区分を前提としております。
３．「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

※債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	実質破綻先、破綻先の債権
危険債権	破綻懸念先の債権
要管理債権	要注意先のうち、元本または利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、または貸出条件を緩和している債権

4. 自己資本比率(国内基準)【単体・連結】

当四半期末の自己資本比率は連結が 10.54%、単体が 10.31%、またTier1比率は連結が 8.27%、単体が8.03%となりました。

（参考）　（単位：百万円）

	平成25年6月末		平成25年3月末	
	単体	連結	単体	連結
自己資本比率	10.31%	10.54%	10.01%	10.23%
Ｔｉｅｒ１比率	8.03%	8.27%	7.77%	7.99%
自己資本額	59,813	61,478	59,406	61,033
うちＴｉｅｒ１	46,598	48,243	46,108	47,713
総所要自己資本額	23,187	23,321	23,727	23,863

5.　時価のある有価証券の評価差額【単体】

当四半期末のその他有価証券の評価差額は、前年同四半期比4,013百万円増加し、4,849百万円の評価益となりました。

○ 評価差額

(参考)　(単位：百万円)

	平成25年6月末				平成24年6月末				平成25年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	308,624	4,849	5,993	1,144	284,589	836	4,804	3,968	301,638	6,974	7,934	959
株式	8,242	1,411	1,729	317	5,699	△883	432	1,315	7,494	1,052	1,345	293
債券	250,713	2,738	2,980	242	229,052	3,977	4,111	133	243,633	4,951	5,022	70
その他	49,668	699	1,283	583	49,837	△2,257	261	2,519	50,510	970	1,566	596

(注) 1．平成25年6月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成25年6月末時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。

2．なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(参考)　(単位：百万円)

	平成25年6月末				平成24年6月末				平成25年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	56,343	280	448	168	58,261	289	615	326	57,690	209	524	315